



## スマートフォンでのゲームやYouTube 視聴について

全国的に小学生のスマートフォン所有率が高まり、同時に様々なトラブルに巻き込まれるケースが多く報告されています。そのトラブルの多くは被害者となるケースですが、中には加害者となっている場合も少なくありません。

これらは対岸の火事ではありません。私たち学校でもスマートフォンの使用について多数トラブルが発生しています。子どもにスマートフォンを買い与えてはいな  
い場合でも、親のスマホや、現在使用していないスマホを使用し無料Wi-Fiでネットへアクセスしているケースもあります。

食事中に使わない

小学生がスマートフォンを使用することには、ネット犯罪や依存症、学業への影響など多くの危険性があります。そのリスクを保護者がしっかりと理解し、使用方法に関してルールを作ること、フィルタリングを設定することが必要です。被害にあってからでは取り返しがつきません。子どもを守る役割は保護者にあります。



### 1 ネット犯罪のリスク

スマートフォンを通じて、子どもたちは様々なネット犯罪のリスクにさらされています。特に、SNSを利用することで、匿名の相手と簡単に接触できるため、児童買春や児童ポルノなどの重大な犯罪に巻き込まれる可能性が高まります。最近の調査によると、スマートフォンを利用している子どもたちの中で、犯罪被害に遭った割合が増加しています。



### 2 依存症の問題

世界保健機関（WHO）はゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を国際疾病として正式に認定しています。スマートフォンの使用が長時間に及ぶと、子どもたちはゲームや動画に依存する傾向があります。これにより、学業や睡眠に悪影響を及ぼすことが多く、特に未就学児や低学年の子どもにとっては、対面でのコミュニケーションや遊びの機会が減少し、社会性や表現力の発達が遅れる可能性があります。

学習に関係ない場合、使わない



### 3 SNSでのトラブル

LINEなどのSNSを通じて、いじめやトラブルが発生することもあります。子どもたちは、ネット上のやり取りに対する判断力が未熟であるため、悪意のある相手にだまされること、不適切な投稿をしてしまうリスクがあります。

寝室に持ち込まない



### 4 保護者の役割

保護者は、子どもがスマートフォンを安全に使用できるように、ルールを設定し、使用時間を管理することが重要です。また、ネットリテラシー教育を通じて、子どもたちにインターネットの危険性について教えることも必要です。小学生がスマートフォンを使用することには、様々な危険性が伴います。保護者は、子どもが安全にスマートフォンを利用できるように、適切な管理と教育を行うことが求められます。子どもたちがインターネットを安全に利用できる環境を整えることが、今後ますます重要になってくるでしょう。以下のサイトには総務省が作成した参考になる資料があります。各家庭で活用して下さい。その他にもこども家庭庁の作成しているパンフレットや警察や教育委員会からの情報もあります。

「上手にネットと付き合おう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～」総務省 情報流通常行政局情報流通振興課情報活用支援室 [https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/index.html](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/index.html)



子どもたちが  
危ない！

詳しく見る→

学校のHPにも左記の部分に様々な情報を掲載していますので、確認して子どもたちと共有して下さい。なおルールを守れない場合はスマートフォンの使用を禁止することも検討して下さい。